

近世、幕末・維新史研究に必携、茨城県郷土史料としても重要！

水戸史学の各論的研究

但野正弘 ◆ 著

「黄門様」として今も人々から愛される徳川光圀を生んだ近世水戸藩。その時代における数々の歴史的テーマを、深く掘り下げ、様々な角度から考察・検証。鋭い考証と明快な論述で綴る、「水戸史学」研究で高名な著者の半世紀に及ぼんとする研究成果の粋！日本近世・幕末維新史研究者は勿論、茨城の郷土史愛好家も必携！

- ◎光圀の素顔、苦心の『大日本史』編纂
- ◎現代にも通底する近世の人口減少問題
- ◎今に遺る光圀ゆかりの地を訪ねて



但野正弘（ただの・まさひろ）

昭和15年7月 茨城県水戸市に生まれる
 昭和38年3月 茨城大学 文理学部文学科 史学専攻卒業
 平成13年4月現在 千葉県 植草学園短期大学教授
 水戸史学会理事・事務局長／財団法人日本学協会理事／
 幕末維新水戸有志を偲ぶ会理事
 著書：新版佐々介三郎宗淳／桜田烈士蓮田一五郎／水戸城本丸史談／若き日の水戸黄門／史跡めぐり水戸八景碑／藤田東湖の生涯／黄門様の知恵袋／梅ヶ香の軌跡／水戸烈公と藤田東湖『弘道館記』の碑文

◎本書目次◎

上編 大日本史に関する探史各論

第一章 大日本史編纂と史料蒐集の苦心
 出典註記の意義／史料蒐集の努力／他藩領史料採訪の苦勞一貞享二年の採訪／史料蒐集の実態一所蔵者の反応色々／史料や書籍の取り扱いに留意／史料閲覧を熱望する光圀書簡

第二章 太平記・参考太平記・大日本史
 「参考太平記」の編修／考証例その一「後醍醐天皇崩御の年次について」／考証例その二「米価公定と糶（米穀販売）令の年次について」

第三章 大日本史編纂の「義例」について一「修史義例」と「対読随筆」の全文一
 「義例」関係の編年／所在不明だった「修史義例」の出現／「修史義例」全文／同じく所在不明だった「対読随筆」の出現／「対読随筆」について／歴史館本・飯田本「修史義例」の性格

第四章 大日本史編纂の「義例」について一初期段階・寛文期の「修史条例」一
 現存の「修史条例」について／「修史条例」の内容特色と作成の時期／「本朝通鑑条例」との条文比較／光圀史観の独自性の胚胎／付記

第五章 大日本史編纂経費「三分の一説」等の根拠は？一通説化する不確かな伝聞一
 「三分の一説」／「八万石説」及び「八万石、三分の一説」／「八万石と三・五分の一説」／「三万石、五万石、七万石」説の影響／「十萬石説」及び「十萬石、三分の一説」／「五万石説」

中編 水戸史学諸問題の探史各論

第一章 松平（伊達）綱村宛「義公書簡」の真偽について
 一「多賀城碑」修復と『扶桑拾葉集』贈与をめぐる一
 「義公書簡」とその来歴／「義公書簡」偽作説の発端と論争／田中義成氏の水戸義公（光圀）批判／『扶桑拾葉集』に関する「義公書簡」の内容について

第二章 水戸光圀寄進と伝えられる小湊誕生寺蔵の茶釜「法華堂」
 茶釜「法華堂」の名称の由来／小湊誕生寺所蔵の「法華堂釜」／駒込大乘寺日華という人物／水戸光圀と大中院日孝および「法華堂釜」／問題点のまとめ

第三章 弘道館教育の反省と本開館一特に寄宿寮問題を中心として一
 仮開館から本開館までの推移／弘道館教育の問題点と改革／寄宿寮の問題とは／寄宿寮開寮の準備／寄宿寮の開寮と「御定」

第四章 江戸時代後期の藩大名による人口減少対策
 一水戸藩主徳川治保・治紀・斉昭の育子政策について一
 水戸藩における財政と人口減少の実態／水戸藩主の対策Ⅰ一六代治保・七代治紀／水戸藩主の対策Ⅱ一九代斉昭

下編 史遊余滴

第一章 水戸藩主徳川光圀の就藩回数について
 一藩主時代は九回が正しい一

第二章 水戸光圀筆「彰考館障子題詩」について

第三章 富士山と水戸光圀一京都大徳寺僧覚印の評から一

第四章 水戸光圀史跡「高枕亭跡」と「漱石所跡」
 高枕亭跡／漱石所跡

第五章 水戸光圀と八溝山
 光圀の現役藩主時代と八溝山／光圀の西山荘隠棲時代と八溝山

第六章 水戸光圀と「桜川・玉簾滝・潮来」の命名由来
 水戸市の桜川（さくらがわ）の由来／日立市の「玉簾滝」（たまだれのたき）／潮来市の「潮来」（いたこ）の地名

日本近世史研究に必携！ 著者半世紀の研究成果！

A5判・上製・高級クロス装・358頁 平成18年7月末刊行 定価：9450円(税込) ISBN4-905849-50-0

七月の
新刊

| | | | |
|--------|---|---|---|
| 帳 面 | 様 | (株) 藝文社 住 〇三-一五三三九二-一K〇K九 電 〇三-一五三三九二-一K〇K九 | |
| | | 冊 | 但野正弘 ◆ 著 水戸史学の各論的研究 訳題一丸田中〇臣(綴次) ISBN4-905849-50-0 C0021 ¥9000E |

〒174-0063 東京都板橋区福野町4-40-3
社 文 文 社
(株) 藝 文 社
電話 03-5392-6069 FAX 03-5392-6078